

石川県内の酒販店有志でつくる「いしかわりキユール研究会」は20日、金沢産のユズとショウガを使ったリキユール「金沢ゆわく 柚子と生姜のお酒」を発売した。同研究会の「ご当地リキユール」第3弾となる。

「金沢ゆわく」は湯涌地区産のユズと大桑地区産のショウガを、やちや酒造(同市)の本醸造酒に漬け込み、爽やかな口当たり仕上げた。県中小企業団体中央会が開発

爽やか ご当地酒完成

金沢のユズ、ショウガ使用



いしかわりキユール研究会完成祝う

を支援した。ラベルには湯涌ゆかりの画家竹久夢二の美人画を採用した。300ミリ入り瓶が1500円(税別)。2800本限定で、県内の酒販店など8店で販売する。

同日、金沢市湯涌町の旅館「かなや」でお披露目式が行われ、会員ら25人が完成を祝った。湯涌の旅館が「金沢ゆわく」に合う料理を提供した写真。



地元産のユズやショウガを使ったリキユールを楽しむ人たち。金沢市で

石川県内の酒販店などをつくる「いしかわりキユール研究会」が、湯涌温泉(金沢市)関係者の協力で「金沢ゆわく 柚子と生姜のお酒」を商品化、二十日に会員店などで発売した。地元産原料を使ったリキユールで、同温泉の旅館でも提供し酒類の消費拡大と湯涌PRにつなげる。

湯涌産のユズと同市大桑町産のショウガを氷砂糖とともに地酒の「加賀鶴」純米酒に漬け込み仕上げた。かんきつ系のさっぱりした口当たりが特徴で、スト

ほろ酔い 湯涌の誘惑

ご当地リキユール第3弾 石川の酒販店など

レートやロックのほか、ソーダ水やお湯で割っても楽しめる。ラベルには湯涌ゆかりの竹久夢二の美人画をあしらった、湯涌の観光案内も添付した。アルコール度数は一二度で、二百ミリ入りの税別価格は千五百円。二千八百本を販売する。

同会は業界活性化を目的に金沢、小松、加賀各市の酒販店など七社で二年前に結成。ご当地リキユールとして「加賀の紅茶」

「お酒」を県中小企業団体中央会の協力で発売し、今回は第3弾。湯涌であったお披露目式では同会の大沢佳代さんが「美容や健康に関心の高い若い女性にお勧め」開発協力した地元旅館おかみの安藤喜代子さんも「和洋食に合う」PR。参加者からは「ショウガ入りなので、飲むと体が温まる」と評判も上々だった。

(網信明)